

# べっぴ 市議会だより

2013.11.1

NO. 115



北部地区公民館で開催された「市民と議会との対話集会」

## 「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例」議案を全員一致で可決

### CONTENTS

P2～3 議決内容

P4～5 議案質疑、常任委員会審査

P6～11 一般質問（15人が市政を問う）

P12 第11回べっぴ子ども市議会スナップ集 ほか

# 平成25年第3回定例会

9月定例会は、補正予算や条例案件などの13議案が上程され、提案理由の説明、議案質疑、所管の常任委員会の審査の後、採決の結果、すべて原案のとおり可決・認定いたしました。また、追加上程された「平成24年度別府市一般会計及び各特別会計の歳入・歳出決算の認定」については、決算特別委員会が設置され継続審査とすることとし、別府市教育委員会委員等の任命については、原案のとおり同意を与えることといたしました。主な内容は以下のとおりです。

## 補正予算

◎平成25年度別府市一般会計補正予算

補正する額は4億2110万円で、総額447億2440万円となります。主な事業は次のとおりです。

◇児童虐待未然防止事業 118万2千円

◇保育士等処遇改善臨時特例事業 4563万8千円

◇空き家対策実態調査に係る経費 329万4千円

◇市営温泉「不老泉」の建替え工事費 5346万4千円

◇道路舗装改修、側溝改修費等 6200万円

◇農地・道路等公共土木施設の災害復旧費 1410万円

◎平成25年度別府市競輪事業、公共下水道事業、地方卸売市場事業、介護保険事業、後期高齢者医療特別会計補正予算

前年度決算に伴う繰越金の計上について

◎平成25年度別府市水道事業会計補正予算

水道料金等徴収業務を来年度から民間委託することによる債務負担行為の計上について

## 決算認定ほか

◎平成24年度別府市水道事業剰余金の処分及び平成24年度別府市水道事業会計決算の認定について

◎平成24年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成24年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について  
(継続審査)



その内容が広範多岐にわたる事から「決算特別委員会」を設置し、閉会中も引き続き審査することになりました。また、委員は次のとおり決定いたしました。

◎永井 正 ○市原隆生  
森 大輔 手束貴裕  
野上泰生 松川章三  
国実久夫 猿渡久子  
(◎委員長、○副委員長)

## 条例制定及び改正

◎別府市総合教育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

当センター移転に伴う条例改正

◎別府市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正について

◎別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例の制定について

※4ページ「議案質疑」等に  
関連記事を掲載

◎別府市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

◎別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

## 人事

次の方を、委員に推薦することについて同意を与えられたことといたしました。

◎別府市教育委員会委員  
高橋 護 福島知克  
寺岡悌二

◎別府市固定資産評価審査委員会委員  
徳田靖之 永富絹代

◎別府市職員懲戒審査委員会委員  
永井 正 市原隆生  
三重忠昭 釜堀秀樹  
大野光章

◎人権擁護委員  
林 道弘 内田淳子  
友永良子 松本久美子



## 意見書

議員より意見書7件が提出され、4件が原案のとおり採択されました。採択された意見書の要旨は以下のとおりで、直ちに衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、その他関係各大臣へ送付されました。

### ◎「山の日」制定を求める意見書

美しく豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐことを国民の全てが銘記することを期待し、国民の祝日である「海の日」と対をなして、国民が山との深い関わりを考える日として、「山の日」が制定されるべきであると考える。

よって、国及び政府におかれては、次期通常国会において、「山の日」を制定するよう強く要望する。

### ◎「地方税財源の充実確保」を求める意見書

地方交付税の増額による一般財源総額の確保について、以下の事項が実

施されるよう強く求める。

①地方単独事業を含めた社会保障関係費の増額など地方の財政需要を地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。

②特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。

③財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。

④依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。

⑤地方公務員給与の引下げを前提として、平成25年度の地方交付税が削減されたが、地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは、避けること。

その他、地方税源の充実確保等について要望あり。

### ◎「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図ることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みを構築することを求める。

### ◎若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書

①世帯収入の増加に向けて、政労使による「賃金の配分に関するルール」の作りを進めること。また、正規・非正規間の格差是正、子育て支援など、総合的な支援を行うとともに、最低賃金引き上げに向けた環境整備を進めること。

②労働環境が悪いために

早期に離職する若者も依然として多いことから、若年労働者に劣悪な労働環境下で仕事を強いる企業に対して、違法の疑いがある場合等の立入調査の実施や悪質な場合の企業名の公表などを検討し、対策を強化すること。

③個人のライフスタイルに応じた多様な働き方を可能とするために、地域限定や労働時間限定の正社員など多様な働き方を普及・拡大する環境整備を進めるとともに、短時間正社員制度、テレワーク、在宅勤務などの導入を促進すること。

◎集団的自衛権に関するこれまでの憲法解釈を堅持することを求める意見書 (否決)

◎消費税率引き上げの延期を求める意見書 (否決)

◎介護保険給付から要支援者を外す計画の中止を求める意見書 (否決)

### 市議会臨時会を開会

平成25年8月30日に臨時会を開会しました。本年度地方交付税等の削減状況を勘案した、職員給与の特例減額等により、以下の3議案が上程され、すべて原案のとおり可決・承認いたしました。

◎別府市職員の給与の特例減額に関する条例の制定について

◎特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について

◎市長専決処分について  
◇別府市立学校職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

#### 【臨時会】

定例会以外に必要があるとき、特定の事件に限り審議するために召集される議会です。緊急を要する案件の審議や改選後の組織議会などのために開催します。

# 議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。9月10日に6名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 【質問議員】

森山義治 穴井宏二  
市原隆生 猿渡久子  
平野文活 泉 武弘

**別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例の制定について**

**問** 条例案には、親亡き後の問題解決のため、総合的施策の策定・実施がうたわれています。また、逐条解説では、「この条文は、本条例の特徴的な規定」と書いてあります。つまり、親亡き後の問題解決を市政の課題として追求している。条例でこれを課題として、市の責務として追及することは非常に珍しいと思います。具体的にはどういうことが検討されているのか。

**答** 障がいのある人の保護者である自分がいなくなった後、「この子の将来はどうなるのだろうか」という思い「これを社会的な問題として捉えて解決していかなければならない」という考えのもとに、この条例で条文化いたしました。

親亡き後の問題を解決するためには、家庭にかわる、障がいのある人が安心して生活できる場の確保、いわゆるグループホームとか施設の整備でございます。また、親などに代わって障がいのある人を支援する人の確保、障害福祉サービス、地域の支援、こういうものが必要になるかと思えます。また、医療や介護など、サービスを受ける際の契約行為について、どなたが行うのかという問題、障害年金、障がいのある人が今生活をしておりますが、その所得で生活が可能なのかどうかという経済的な問題、このようないろいろな問題点を洗い出してから、その解決策を総合的に図っていく必要があると考えています。また、専門家の部会を設けたいと考えています。

## 不老泉の改築について

て、どなたが行うのかという問題、障害年金、障がいのある人が今生活をしておりますが、その所得で生活が可能なのかどうかという経済的な問題、このようないろいろな問題点を洗い出してから、その解決策を総合的に図っていく必要があると考えています。また、専門家の部会を設けたいと考えています。

**問** 不老泉の改築については、直接関心のある方から意見も寄せられていると思うが、施設についてどのようなものになるのか説明いただきたい。また、障がい者の意見と聞いて反映をされるのでしょうか。

**答** 建物の概要ですが、鉄筋コンクリート造、瓦ぶき2階建てで、延べ床面積は約500平米で

ございます。1階には温泉施設と休憩室を設け、2階には地域コミュニティの場となる集会所などを設け、エレベーターも設置しています。

また、8月に障がい者団体の代表者の皆様方に参加していただき、市営堀田温泉で実際に浴室などを視察していただきました。その中の主なものといたしましては、湯舟の縁の高さや脱衣室の形状、また、災害時の避難所としての機能などについて御意見をいただきましたので、対応できるものについては、できるだけ反映させるようにしています。

**問** 2億を超える事業費を投入するわけだが、この事業収支見込みについてお聞きしたい。

**答** 収支で言えば赤字が1800万近くになるというふうな思っています。これは10年間の起債償還という部分でございます。ただ、不老泉は56

年経過した非常に老朽化した施設であり、市民、観光客の安全から見ればやむを得ない措置というふうに考えています。できるだけ早めに黒字転換ができるよう方策を考えなくてはいいけないという思いでございます。

## 議会中継のご案内

定例会はケーブルテレビ等でも視聴できます。

◎ケーブルテレビでの生中継

CTBメディア「とんぼチャンネル」で生中継しています。

◎インターネットでの生・録画中継  
別府市議会ホームページ「議会中継」で生・録画中継しています。

※録画中継については、概ね1週間後から約1年間中継をご覧いただけます。



委

員

会

審

査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。付託を受けた議案13件については、審査の結果、全て原案のとおり可決等すべきものと決定しました。主な審査の内容を掲載します。

### 総務企画消防委員会

平成24年度一般会計決算において剰余金が確定したことに伴い、繰越金の追加額を計上するもの等の説明がありました。

委員からは、剰余金の見解についての確認や意見がありました。

当局から、歳入面では、税収入、地方交付税等の決算額が、当初の見込みより多かつたことが考えられる。また、歳出面では、入札の執行は、合理的な基準で経費を見積もるため、落札によって一定程度の不用額が発生する。剰余金については、必要に応じて公共工事の前倒しで行うことなども検討しているとの説明がありました。

### 観光建設水道委員会

平成24年度水道事業決算について、委員からの、基本料金に係る基本水量の引下げや福祉還付制度の対象の拡大ができないかとの質疑に対し、当局から、営業収益の見込み等を踏まえ、慎重に検討していくとの答弁がありました。

また、今後技術系職員的大量退職が控えるなか、専門知識や経験の継承のため、新規採用を含めた対策を講ずるべきではないかとの質疑があり、当局からは、将来的には民間委託によることが可能なものは委託することにより対応したいと考えており、新規採用については、

人事交流も含めて今後市長事務部局とも協議して方針を決定していきたいとの答弁がありました。

### 厚生環境教育委員会

公的助成を受けられない軽度・中度の聴覚障がい児が、早期から言語発達やコミュニケーション能力を身につけ、また、学力向上が図られるよう、補聴器の購入や修理に対し、費用の3分の2を限度として助成する経費を計上するとの当局説明がありました。

委員からの、対象年齢等についての質疑に対し、18歳未満、かつ、聴覚障がいがあるものの、身体障害者手帳の等級に該当しない方への助成を行うとの当局説明がありました。

さらに委員より、見込みを上回る数の申請があった場合の対応に関する質疑に対しては、当局より、予算の確保を検討する旨の答弁がありました。

## 厚生環境教育委員会所管事務調査

厚生環境教育委員会は、「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例」(案)の制定について、所管事務調査を行いました。条例施行に際しては、より実効性のあるものにするため、以下のとおり指摘及び要望を行いました。

- ①障がいのある人に対する事業を、より円滑に推進するため、庁内の体制整備に努めること。
- ②市民・民生委員・事業者等への理解、協力が得られるよう、十分な啓発に努めること。
- ③教育委員会との連携を密にし、「障がい」に対する理解を深めるため、教育現場の環境整備に努めること。
- ④障がいのある人(要援護者)の防災・減災対策を迅速かつ着実に行うこと。
- ⑤障がいのある人のまちづくり(道路整備等)に関する要望を、十分検証し、計画的な事業実施に努めること。
- ⑥親亡き後等の問題の解決にあたっては、障がいのある人の不安を解消するため、各団体・有識者の意見を聴き、あらゆる方策を活用し、きめ細かな対応に努めること。

以上、「負担が過重でない」範囲における合理的配慮を適切に行い、本条例が実効性あるものとなるよう、事業計画の策定を行うこと。

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。9月11日から13日の3日間、15名の議員が市当局の見解をたきました。主な内容は次のとおりです。

## 学びの21世紀塾について

公明党

堀本 博行 議員

**問** 豊後高田市の「学びの21世紀塾」について市教委としてどう考えるか。また、「土曜授業」を別府市でも導入してはどうか。

**答** 豊後高田市の「学びの21世紀塾」は、学校週5日制となった平成14年度から始まり、土曜日の子どもの活動の場を保障する意味で始まったようですが、現在では土曜日以外にも水曜日や放課後、長期休業中の特別講座、テレビ寺子屋と事業が広がってきていると伺っております。

本年7月に下村文部科学省大臣が視察に来られるなど、全国的に注目されている事業で、これからの土曜日授業を実施する上でのモデルケースになる事業と考えております。また、土曜授業の導入についても、確かな学力の定着においては、今後一層の努力が必要と感じております。国の方向性としては土曜授業の規制緩和を模索し、学校支援地域本部の中の「学びの教室」を土曜塾に活用しようとする構想も伺っておりますので、別府市としても何らかの方向性を示していきたいよう努力してまいりたいと思っております。

## 茶寿苑問題、わくわく建設券

日本共産党議員団

平野 文活 議員

**問** 茶寿苑での虐待と不正請求の実態はどうか。

**答** 女性の介護職員による10件の虐待が判明。また介護報酬の不正請求は1500万円でした。

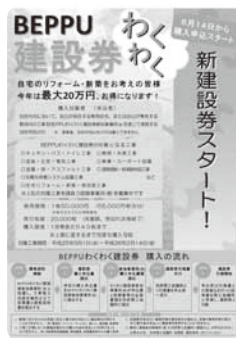
**問** これまでの監査ではなぜ不正を発見できなかったか。今後の対策はどうか。

**答** これまでは書類審査だけでしたが、今後は立ち入り調査もして、改善勧告以上の指摘があった場合については、結果の公表も検討します。

**問** BEPPUわくわく建設券の活用状況はどうか。

**答** 9月3日現在、登録数157業者、建設券申し込み364件、市補助金執行額3208万円、総工事高7億1697万円です。

**問** 補助金に対する総工事高は22倍であり波及効果はあがっている。しかし登録業者が少なすぎる。市内業者であれば、市の指名登録をしていなくても、商工会議所の会員でなくても制度は利用できることを周知徹底すべきではないか。



**答** 来年度の事業継続を含めて改善できるところは改善します。

**問** 建設券の購入日が毎月1日に限定されていると聞く。いつでも購入できるよう改善できないか。

**答** 改善できるようにします。

## 国保事業・介護保険事業について

市民クラブ

三重 忠昭 議員

**問** 国において国保の都道府県単位の運営が議論されているが、その場合、保険料、財政の健全化などどのように変わるのか。問題点は。

**答** 保険料が県に移行した場合、賦課方法、標準保険料等が示されていないので現段階では不明確である。また、財政運営の役割は県になると考えるが、市が収納した保険料だけを納める方法と県が市の医療給付費等を考慮した納付すべき必要額を割り当てて市が拠出する分賦方法がある。いずれも収納額不足、収納保険料が拠出金額に満たない場合、保険料への転嫁や一般会計からの補てんとなると考えられる。

**問** 国保運営について広域化などの一時しのぎでなく、国保の被保険者の年齢構成や財源・経済状況



は更に厳しくなる事が考えられる。極論を言えば安定した国保事業の運営は国が責任を持つて行われるべき。また介護保険制度も要支援1・2の切り離し、特養入所の厳格化等も議論されている。困っている方が更に困ることにならないようにしっかりと状況を把握する必要がある。いずれにしろ安定した制度設計と市民が納得でき、利用しやすく分かりやすい制度に向けて国や県に対しても意見を積極的に出していくべき。

**答** 検討委員会での協議、また全国市長会等を通じて要望していきます。

### 児童行政・市民との協働の街へ

市民クラブ

森 大輔 議員

**問** 養護施設に入所している子ども達の自立支援の充実を願うご要望します。彼ら彼女らは、18歳から施設を出て自立を求められます。未成年でもある子ども達の状況は、

一般家庭に比べると生活が不安定になり易い。皆が、公平に近いスタートラインに立って進学または就活出来るように学資支援、就活支援を実施すべきではないか。

**答** 中津市では、大学進学支援に60万円、就職支援に20万円支給しています。別府市も同様の取り組みを検討していきたい。

**問** 「車いす温泉道」は、観光と福祉の両分野から別府市行政に課題を投げかけている。国土交通省観光庁の指針に従い、今後は施設面のバリアフリーだけでなく、介助員の育成も求められてくる。障がい者や高齢者の観光ニーズに応えられるユニバーサルツーリズムに積極的に取り組んでいただきたい。

**答** ユニバーサルツーリズムについては今後、国の方向性や動向を注視して対応します。

**問** 「別府市障害のある人もない人も安心して安

全に暮らせる条例」の制定に追い「誰もが温泉を楽しめる日本一のユニバーサルなまち別府」にしていたきたい。

**答** 障がいのある方の温泉入浴には、安全性を考慮した介助員の育成が望まれます。安全に安心して温泉が楽しめる配慮は今後の検討課題です。

### 行政と議会の関わりについて

自民党議員団

河野 数則 議員

**問** 行政と議会の関わりについて、どのように考えているのかたどしたい。

**答** 市長、議員ともに市民から選ばれており、ともに市民の代表として職務に責任を負っている。住民福祉の向上のため、二人三脚で協力し、相互にけん制して均衡を保つことで行政運営ができるものと考えている。

**問** 行政と議会の関わりあえる場所は、議会が



発案して設置した行財政・議会改革等推進特別委員会だけである。問題そのものを説明する場がない。また、他都市では首長が7/8割を答弁しているのに対し、別府市の場合は課長がほとんどを答弁している。市長自らが答弁する姿勢を示すべきであるがどう考えるか。

**答** ご指摘は真摯に受け止める。市長の責任として反省すべき点は反省し、改善に向け鋭意努力したい。

### フォレストベンチ工法の採用を

公明党

穴井 宏二 議員

**問** 市内花いっぱい運動について、毎月のシンボルフラワー植栽は無理としても、四季の花を植える必要があり、現在、年2回しか公園の花壇等に植栽していないが、年4回は植栽して「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりが必要ではないか。

**答** 花いっぱい運動をどのようにしたらよいか、真剣に考えていきたいと思えます。

**問** 東日本大震災で気仙沼市の住宅地の崖に15メートルを超える津波が数回にわたる寄せ波と引き波にもかわらず、フォレストベンチ工法を施した住宅の崖はこれれず無事でありました。この工法の発明者であられる栗原光二博士の大分県庁での勉強会に参加した。市としては、従来の工法

に比べてどのようなにとらえているのか。また、導入について進言をしたいが考えをお伺いしたい。

**答** フォレストベンチ工法は、柵田や段々畑をイメージしてもらえれば良いかと思いますが、災害等でのり面を階段状に作り替え、斜面を安定させる、10年ほど前に開発された新しい工法です。土留壁にコンクリートを使用せず、透水性のある鋼製網を壁にして、アンカーとワイヤーをつなげて地山に打ち込み、土を戻して地山からの強力な引張力でのり面を安定させる工法です。地震に対してもろくて粘りの無い従来のコンクリートと比べ、軽量で透水性に富み、衝撃を緩和でき、一定の水平面ができることから水を地下に浸透し、また材料が軽量で重機が搬入できない箇所での工事が容易で樹木を植えれば森林になるなど、景観的に優れているなどの利点がある。市としては、この工法は積極的に促進していく時代になっ

ていると思っており、適用の可能性を調査・研究したい。

### 別府市における不祥事等について

創政会

野口 哲男 議員

**問** 市民球場の防球ネット・夜間照明設置等々、稲尾球場に相応しい高校野球のメッカにする」と市長の公約でもある。議員全員が要望書も提出している。また、日韓の浦口野球等のキャンプ誘致に必要な室内練習場の設置等、いつ実行するのか。



**答** 夜間照明の設置は、費用対効果を把握しながら今後も検討したい。防球ネットについては、来年度の設置に向け関係課と協議を進めている。室内練習場については、駐車場と共に基本計画にあげており関係課と協議していく。

**問** 別府市における不祥事が続発し、マスコミでも全国的に取り上げられマイナスイメージは大変大きい。「藤ヶ谷清掃センター」入札問題、同運営会社における暴力団関係、「市長選における公務員（管理職）の政治活動違反疑惑、相手候補の企業長幸建設に対する入札制限問題（裁判中）」「土地買収における2件の搾取事件、住民監査請求に発展、有印私文書偽造、同行使事件」あつてはならないこれだけの大事が起きたにもかかわらず、市民に対して情報公開はおるか懲罰等何も反応なし。市長の行政の管理責任等を厳しく問う。

**答** 指摘事項については

誠に申し訳なく反省している。土地取得については必要と判断した。手続きにおいて書類の錯誤や交渉過程の対応に気配りが足りなかった。意見は真摯に受け止め今後の市政運営にいかしていく。

### 5つめ問題について

創政会

手束 貴裕 議員

**問** 最近のいじめは簡単に「いじめ」で片づけられないものが多く、「いじめ」は犯罪であるということを認識させる必要があります。学校と行政、地域、保護者が連携して取り組む必要があります。そのためにはしっかりとした対策を立てなければなりません。どのような対策、対応をしていますか。

**答** 小・中学校に年3回のアンケート実施、校内に相談体制の整備充実、スクールサポーターの派遣、学級でいじめを取り上げ、いじめに対する意識を繰り返し指導して

ます。

**問** 現状を考え保護者も新たな取り組み「命の封筒」事業を開始した。この取り組みには保護者も大きな期待を寄せています。教育委員会は「命の封筒」の取り組みにおいて保護者との連携をどのように活かしていきたいと考えていますか。

**答** 教育委員会、学校現場、保護者、そしてコミュニティスクール構想により地域を巻き込んで、いじめに相對していきます。

**問** 放課後児童クラブのニーズは年々高まっています。待機児童を出さないための対策が必要だと思いますが、どのように考えていますか。

**答** 新たな指導員を確保する必要も生じてきますので、クラブだけの対応でなく、連絡協議会と一体となり、取り組んでいきたいと考えています。



## 稲尾球場で小学生大会を

公明党

市原 隆生 議員

**問** 平成23年12月議会で市民球場を少年野球のメッカリに、というお話をさせていただき、市長からも良い提案だと賛同いただいたと思います。この議会でのやり取りの後、軟式野球連盟でも真剣に考えていただき、あと一歩のところまで来ていると聞きました。いきなり「九州大会」ではなく、別府周辺の地域から次第に広げていく方向でスタートしてはどうか、ということと進めていただいているようにです。将来的には、稲尾さんの名前が、広く伝わっていくような、大きな大会へと広げていける、少年野球にかかわる子供たちの夢が膨らむような野球大会になるように期待しています。少し備品を整える以外は、現状のまま市民球場を活用できますし、超えるべきハードルは、そう高くないと思います。来年度

の開催を目標にして協議を進めていただきたいと思います。別府市はどのように考えていますか。

**答** 市民球場の活用により、多くの少年たちの健全育成を図ることができること、また大会関係者や保護者も含めて、別府観光を楽しんでいただきたいと思えます。引き続き、教育委員会や別府市軟式野球連盟と前向きな協議を進めていきたいと思えます。

## 観光振興・中心市街地活性化

自民党議員団

野上 泰生 議員

**問** 別府市が推進しているマンガ・アニメによる集合戦略を成功させるために、やる気のある若者が参加できる仕組みを作ってほしい。

**答** 行政活動の一部を代行し早い段階で組織作りをし、広く人材を集め、効果的な事業展開ができるような環境整備に取り

組む。

**問** 質の高い情報を発信する公式観光ホームページは重要だ。予算面、体制面の充実を望む。

**答** 充実に向けて各関係団体と協議してまいりたい。

**問** 滞在型・保養型の温泉地を目指すために、入湯税の一部を、健康を増進する滞在プログラム等の費用に対し、助成するような事業を始めてはどうか。

**答** 別府ならではの長期滞在保養に関するメニューの開発、実現に取り組みたい。

**問** 中心市街地の活性化を図るために、地域のコーディネートを行う人材を確保してほしい。そのような人材が地域で頑張る若者や女性の話を聞き、事業を構築していかないと活性化は成功しない。

**答** 今後、中心市街地活性化を推進していくため

には、地域に必要なとされる施策を、地域に根付いた視点から、事業を形成できる人材の配備を検討していきたいと考えている。

## 観光行政と指定管理者制度について

市民クラブ

加藤 信康 議員

**問** 外国人観光客から見た「観光地べっぶ」の将来像をどう描くのか。

**答** 今後、国内観光客の誘致競争はより一層厳しくなると予想される。観光客の増加を目指すうえで、世界を見据えた広いマーケットを視野に、誘客・宣伝を図ることが必要である。大きな可能性を秘めたマーケットの中で、日本一の温泉都市「別府市」としてグローバルな視点での観光施策を実現しなければならぬ。別府市が「外国人にとって魅力ある街」を創出していき、留学生や海外観光客にとって、他市では味わえない思い出

## ホームページの紹介

別府市議会では、皆様に市議会の情報を提供するため、本誌「べっぶ市議会だより」の発行に加え、ホームページを開設いたしております。

ホームページでは、市議会議員の紹介、議会中継、議事録の検索など多くの情報を掲載していますので、是非ご覧ください。



き街となるような施策に取り組んで参りたい。

**問** 指定管理施設において、施設所管課は従業員などの労働条件などの確認ができていない。今の制度では仕様書や協定書は5年ごとの指定管理者更新の時にしか見直しはできない。労働環境モニタリングの実施について指針を見直すつもりはないか。

**答** 指定管理者制度は単なる価格競争とは異なる。公共サービスの質の低下を招かないために、指定管理者において雇用・労働条件への適切な配慮がなされているかどうか、今後、指定管理者のモニタリング方法を検討課題といたしたい。

**社会保障の改善に  
反対の声を上げよ**

日本共産党議員団

猿渡 久子 議員

**問** 8月から生活保護費の引き下げを行い、3年間で最大10%、総額670億円の削減を行う。

年金や最低賃金の引き上げや雇用の確保こそ必要だ。生活保護基準の引き下げは最低賃金や年金など国民生活全体にマイナスになる。就学援助や介護保険料軽減制度などに影響がないようにすべき。

**答** 就学援助は、本年度は旧基準で算定する。来年度以降はなるべく影響が及ばないようにしたい。介護保険料の軽減制度は、来年度までは、これまで軽減を受けられてきた方が引き続き受けられるようにする。

**問** 来年度以降もマイナスにならないようにすべき。生活保護基準は非課税限度額に影響を与え、それが介護保険料や保育料の値上げなど多くの制度に影響が出る。非課税限度額が下がらないよう、また、生活保護費や年金の引き下げ、70〜74歳の医療費2割へ引き上げなど社会保障の改善に反対し国に声を上げるべき。

**答** 地方への財政負担が過重とならないよう、特

に低所得者層の負担軽減がされるよう、これまでも全国市長会等を通じて国に対し提言してきたが、今後も引き続き働きかけていく。

**問** 障害がある人もない人も安心して安全に暮らせる条例を実効性のあるものにするために、市民と一緒に啓発し職員の配置をしっかりとすべき。

**答** 全庁体制で取り組んでいきたい。

**猫トラブルについて**

自民党議員団

松川 章三 議員

**問** 猫を飼っている人が多いと思うが、市内の猫に関する問合せの状況はどうか。

**答** 平成24年度の猫の苦情件数は合計1176件、内容は死体の引き取り1064件で全体の90%、鳴き声、引取り依頼、捕獲依頼がそれぞれ1%である。

**問** 現実には糞尿被害、鳴き声被害が多いと思う。全国的に地域猫という考えがあるが地域猫の定義は何か。

**答** 地域猫とは、地域の理解と協力を得て、地域住民の認知と合意が得られている特定の飼い主のいない猫です。飼育管理者を明確にして、飼育する対象の猫を把握し、フードや糞尿の管理、不妊去勢手術等徹底し一代限りの生を全うさせる猫を指す。

**問** 県が鉄輪をモデル地区にする計画があると聞いたが本当か。

**答** 鉄輪のボランティア団体と県食品安全衛生課、東部保健所、環境課で四者協議会を行っている。地域猫活動の効果に対して疑問の声が上がったため、猫トイレの設置を行い、実証実験を行うようにしている。

**問** 猫トラブル問題を解決するため、別府市独自の不妊去勢手術の助成金

を出すべきではないか。

**答** 自治体で助成金を出しているところもあると聞いている。実態調査をして県と相談して取り組むたい。

**べっぴん夏の宵まつり  
納涼音頭大会に参加  
しました。**

別府市議会は7月27日(土)に行われた「べっぴん夏の宵まつり納涼音頭大会」に今年も参加し、連続出場回数10回の団体表彰を受けました。市内他の団体とともにお祭りを盛り上げました。





**いじめ防止対策  
推進法について**

自民党議員団

松川 峰生 議員

**問** いじめ対策推進法案が6月25日に公布され、今秋から施行されることになっているが、このような法律をつくらなければならぬ現状について、どのように考えているのか。

**答** いじめ問題で、重大な事態の場合は、生命又は身体の重大な危険性を生じさせる場合もありません。いじめ対策推進法は、このような状況を踏まえ、国がいじめの防止を基本理念、基本的な方針及び、県、市、また教育委員会やそれぞれの学校の役割を明確にした、とても意義のある法律と認識しています。

**問** いじめ防止対策推進法は、各学校へどのように周知し、どう指導していくのか。

**答** この法律は、7月7

日付で各学校へ通知してあります。国が基本的な方針を策定することが求められていますが、現在、有識者会議を開いて、その策定を急いでいると聞いています。別府市としては、その方針を受けて、県教委の指導を受けながら、別府市にあった形で「別府市版いじめ防止基本方針」を具体化したと考えています。

**問** いじめ問題に対応できる学校問題解決支援チームの設置を設けるべきではないか。

**答** 学校現場には学校だけで解決できない問題を抱えています。別府市全体としては、このようなチームが必要であり、関係課と協議しながら設置をしていきたいと考えています。

**場当りの  
浜田市長の市政運営**

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

**問** 小・中・高校の再編

や統合で2万坪が空き地になる。跡地利用改革はできているのか。

**答** できていない。

**問** 4億円かけて実相寺にパークゴルフ場を造っている。来年9月オープン予定だが利用者獲得等の営業活動はしているのか。

**答** 現時点ではしていない。

**問** 旧南小学校跡地3千坪は10年間放置したまま。行き当たりばつたりの市政運営、市長には経営者の視点が見えない。これが浜田市政の実態だ。近鉄跡地は財源や利用計画を示し取得すべきだが。

**答** 入手できるよう努力したい。

**問** 市が取得後、民間業者に事業用地で賃貸し、市の総合窓口、図書館、九州物産館、アルゲリツチ記念館、観光協会、商工会議所等が入居できる

事業を進めてはどうか。

**答** 買い取った後に考えたい。

**問** 茶寿園の介護給付費不正受給返還金は、2年分、約2千万円となっているが、時効の2年分も返納させてはどうか。

**答** 自主返納するように請求しています。

**問** 元公務員の理事長が、給付費を詐欺で騙し取った事は極めて深刻で中途半端な解決をしては

ならない。刑事訴追をして厳しく対応するよう求める。

**答** 介護報酬の返還金請求等に応じないときは刑事訴追も考えたい。



**9月定例会等 会期の経過**

- 8月29日 議会運営委員会
- 30日 臨時会
- 9月 5日 本会議(議案上程)
- 10日 本会議(議案質疑)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 議会運営委員会
- 13日 本会議(一般質問)
- 広報広聴委員会
- 決算特別委員会
- 17日 常任委員会審査
- 20日 本会議(各委員長報告、討論、表決)
- 議会運営委員会

※ 次の定例会は12月6日(金)から20日(金)を予定しています。変更となる場合があります。

# 第11回 べっぷ子ども市議会

(平成25年7月26日開会)

べっぷ子ども市議会は、市内各小中学校の代表者が議員となり模擬市議会を行いました。自分たちの住んでいる別府の諸問題や未来について、自ら課題を見つけ、考えることにより、市議会の重要性とふるさと別府を愛することの大切さを学びます。また、子どもたちから出された真摯な提案や課題などを今後の市政運営に活用いたします。

議長	副議長・宣言	提言			
 時枝 真暉 議員 (山の手中学校)	 永田 敦寧 議員 (北部中学校)	 江原 優斗 議員 (朝日中学校)	 清末 太一 議員 (鶴見台中学校)	 工藤 帆夏 議員 (中部中学校)	 高瀬 さくら 議員 (青山中学校)
子ども宣言	謝辞	一般質問			
 田川 美綺 議員 (浜脇中学校)	 上園田明真海 議員 (東山中学校)	 大林 優 議員 (西小学校)	 縄田 要恩 議員 (石垣小学校)	 宮部 葵 議員 (大平山小学校)	 羽田 鉄馬 議員 (春木川小学校)
一般質問					
 戸高 千怜 議員 (青山小学校)	 工藤 祥啓 議員 (上人小学校)	 秦 優希菜 議員 (朝日小学校)	 吉本伊央利 議員 (亀川小学校)	 大野 由惟 議員 (別府中央小学校)	 武内あや菜 議員 (境川小学校)
一般質問					
 齋藤 涉武 議員 (南立石小学校)	 松岡 儀樹 議員 (緑丘小学校)	 山口 大輝 議員 (東山中学校)	 吉野 吏 議員 (南小学校)	 衣川美紗子 議員 (鶴見小学校)	

**編集後記**

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。秋を表現する言葉に「天高く馬肥ゆる秋」とあります。気候も涼しくなり、食欲も増して、収穫の秋本番を迎える喜びを感じられます。これも、五穀豊穡の恵みに感謝する先人が丹精を込めて育んでこられたからこそ味わえる「実り」と言えます。

さて、「市民と議会との対話集会」では皆様より多くのご意見ご指摘を賜りました。ありがとうございます。これを機に、市民の皆様にとってより「開かれた議会」を目指して、出来る限りの改革を一步步つ前へ押し進めていく所存です。「実りある対話集会だった」と言われるように、皆様から賜りましたご提言にお応えすべく議員に課せられた責務を全うしてまいります。

広報広聴委員会  
委員 森 大輔